

# 相模原市公共交通ニュース

～みんなで使おう公共交通！～

第7号 / 平成26年3月

相模原市公共交通整備促進協議会は、相模原市・市議会・自治会連合会・市内各種団体で構成され、昭和44年の設立以来、市内の鉄道やバス交通等の輸送力増強の促進を目的に、鉄道及びバス事業者への要望活動や、公共交通の利用促進に向けた啓発活動等を行っています。

## 横浜線に新型車両が導入！～より便利に・快適に～



2月16日(日)より、横浜線に新型車両 E233 系が導入されました。E233 系は、最新の設備を備えた車両で、従来車両よりも定員が約1割増加することで混雑緩和に寄与するとともに、走行にかかる消費電力も約7割になるなど、環境にもやさしい車両です。

また、主要機器の二重系化、情報案内装置の充実、ユニバーサルデザインを考慮した車内設備など、利用者の快適性の向上も図られています。

### 駅構内案内もわかりやすくなりました

横浜線よくするプロジェクトの一環として、駅の案内サインをわかりやすくする取り組みや、新型自動改札機の設置などが進められ、駅の利便性向上も図られています。

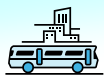


新型車両には、横浜線 20 駅と直通運転している根岸線 8 駅の駅スタンプがデザインされています。

普段利用している駅がスタンプされた車両をさがしてみたいはかがでしょうか？



(相模原駅スタンプ)



## 要望活動を実施しました



協議会では、公共交通の利便性向上に向け、平成26年1月及び2月に、交通事業者に対する要望活動を行いました。

主な要望内容

- ・ JR 東日本横浜支社  
「横浜線の輸送力増強及び相模線の複線化」
- ・ JR 東日本八王子支社  
「中央本線の輸送力増強及び横浜線との相互乗り入れ」
- ・ 小田急電鉄  
「小田急線の輸送力増強及び小田急多摩線延伸の早期実現」
- ・ 京王電鉄  
「京王相模原線の輸送力増強」
- ・ 神奈川中央交通  
「バス交通の輸送力増強」



要望活動の様子 (小田急電鉄)



## これまでの実績 (過去3年)



要望活動を通じ次のような成果を得ています。

平成23年度

- ・ JR 横浜線の運行本数の増発
- ・ 京王相模原線の運行本数の増発など

平成24年度

- ・ 藤野駅舎への待合室整備
- ・ 京王相模原線への特急新設など

平成25年度

- ・ JR 横浜線の輸送力増強 (新型車両)
- ・ バス「中乗り」「前降り」方式の導入



# 地域公共交通の充実を図ります！

## 大野北地区でコミュニティバスの運行が始まりました！

2月1日(土)から、大野北地区において市内2路線目となるコミュニティバスの実証運行が始まりました。1月26日(日)には、運行開始に先立ち「出発式」が開催され、バスのお披露目や地域の協力による太鼓の演奏、車体デザインに採用された方の授賞式が行われるなど、総勢約100名の出席者により賑やかに祝福されました。

今後、約2年間の実証運行期間中に運行継続条件( )を満たした場合、本格運行に移行します。

**運行継続条件** 「1便あたりの利用者が10人以上」 かつ  
「運賃収入が車両償却費等を除いた運行経費の50%以上」



【出発式の様子】



【コミュニティバス車両】



### バス停名称

- 1 淵野辺駅北口
- 2 淵野辺総合病院入口
- 3 南門商店街
- 4 矢部駅・相模野病院前
- 5 第一公園入口
- 6 ショッピングセンター前
- 7 児童相談所南
- 8 防衛省陸上装備研究所前
- 9 大野北こどもセンター入口
- 10 フェアロージュ淵野辺前
- 11 あかぬま公園前
- 12 椿箱荷神社入口
- 13 上矢部五丁目
- 14 上矢部四丁目
- 15 上矢部三丁目
- 16 上矢部二丁目
- 17 上矢部一丁目
- 18 高橋南
- 19 馬場十字路
- 20 馬場橋南

大人現金初乗り運賃は、170円。(4月以降は、180円。)  
各種割引サービスあり。(交通系ICカードも利用可。)  
平日の運行は、午前7時台～午後7時台。  
土・日・祝日の運行は、午前8時台～午後6時台。  
運行間隔は、1時間に1本。

## 根小屋地区で乗合タクシーの実証運行が始まります！

緑区根小屋地区を運行しているバス路線「根小屋方面循環線」は、市が公費負担を行いながら維持・確保をしていますが、1便あたりの平均利用者が4人未満という状況を踏まえ、平成24年2月に沿線自治会等の代表者による「根小屋循環線見直し検討委員会」が組織されました。

検討委員会では、市とともに根小屋方面循環線の改善策を検討してきましたが、バス路線の存続を希望する声がある一方、「片回り運行のため利用しにくい」、「道路が狭い地区のためバス車両では運行できない」などの声もあることから、利用しやすく、かつ、効率的な運行を行うために、バス路線から事前予約型の「乗合タクシー」に移行することとしました。

「根小屋地区乗合タクシー」は、4月1日(火)から最長2年間の実証運行期間中に運行継続条件( )を満たした場合、本格運行に移行します。

**運行継続条件** 「稼働した便の1便あたりの利用者が1.5人以上」 かつ  
「全運行本数に対する実運行本数の稼働率が50%以上」

### 乗合タクシーとは？

津久井地域の交通空白地区における生活交通を確保するため、地域、事業者、市の三者が協働して運行するものです。(市内では既に内郷地区で運行。)

予め時刻表や運行区域は定めますが、事前に予約をいただいた便のみ、予約のあった停留所を最短距離で結んで運行します。

### 内郷地区の例



写真上：停留所  
写真左：車両

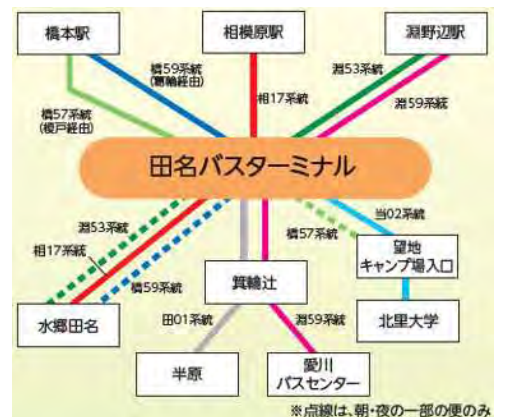
## 田名バスターミナル供用開始！ ～ バス路線が再編されます ～

田名バスターミナルの供用開始に伴い、4月1日(火)からバスターミナルを経由するバス路線が再編されます。

この再編により、乗り継ぎ拠点となるバスターミナルを起終点とする運行が原則となるため、幹線バス・支線バスの機能的な配置や長大路線の見直し、競合する系統の統廃合が実現され、バスの定時性・速達性やバス路線網のわかりやすさの向上が図られます。

なお、交通系ICカード(Suica、PASMO)を利用し、1時間以内にバスターミナルでバスを乗り継いだ場合は、乗り継ぎ後のバスの運賃から100円(小児・障害者は50円)を割り引くなど、乗り継ぎ負担の軽減についても併せて図られます。

【再編後の路線(概略図)】



※点線は、朝・夜の一部の便のみ

### 都市交通施設整備基金にご協力を

相模原市では、都市交通施設の整備にかかる費用の一部にするため、平成20年度から基金の積立を行っており、市民の皆さんや企業などからの寄附を受け付けています。詳しくは、事務局までお問い合わせください。